

2025 年度「卒業時アンケート」(2025 年 9 月卒・2026 年 3 月卒)

集計結果 概要版

「卒業時アンケート」の概要

立教大学では、2025 年度学部卒業生（2025 年 9 月および 2026 年 3 月）を対象に「2025 年度 卒業時アンケート」を実施しました。ここでは、集計結果の概要をご紹介します。

アンケートにご回答いただいた卒業生のみなさん、ご協力ありがとうございました。立教大学では、このアンケートの結果を、これからの教育の改善に活かしていきます。

調査対象：2025 年度学部卒業生（2025 年 9 月および 2026 年 3 月）

実施時期：①2025 年 9 月卒業 2025 年 9 月 19 日（学位授与式当日）

②2026 年 3 月卒業 2026 年 3 月 24 日・25 日（学位授与式当日）

①、②ともに学位授与式次第にはさんで配付、学位記等配付会場で回収（一部、Google フォームによる Web 回答もあり）

調査方法：卒業生を対象とした全数調査

質問紙によるアンケート方式で実施

調査目的：この調査は、4 年次（過年度生を含む）における学修状況、および、卒業にあたって本学での学生生活を振り返ってもらい、「身についた力」「大学生活で力を入れたこと」「教育内容の満足度」や「本学への評価」などを調査することで、本学の学士課程教育の質の検証に資するデータを収集し、教務・学生生活関係の情報と合わせて、教育改善のために活用することを目的としています。

回答数と回答率

回答者数：3,560 名（2025 年 9 月卒業：43 名、2026 年 3 月卒業：3,517 名）

回 答 率：78.7%（2025 年 9 月卒業：21.8%、43 名/197 名、2026 年 3 月卒業：81.3%、3,517 名/4,325 名）

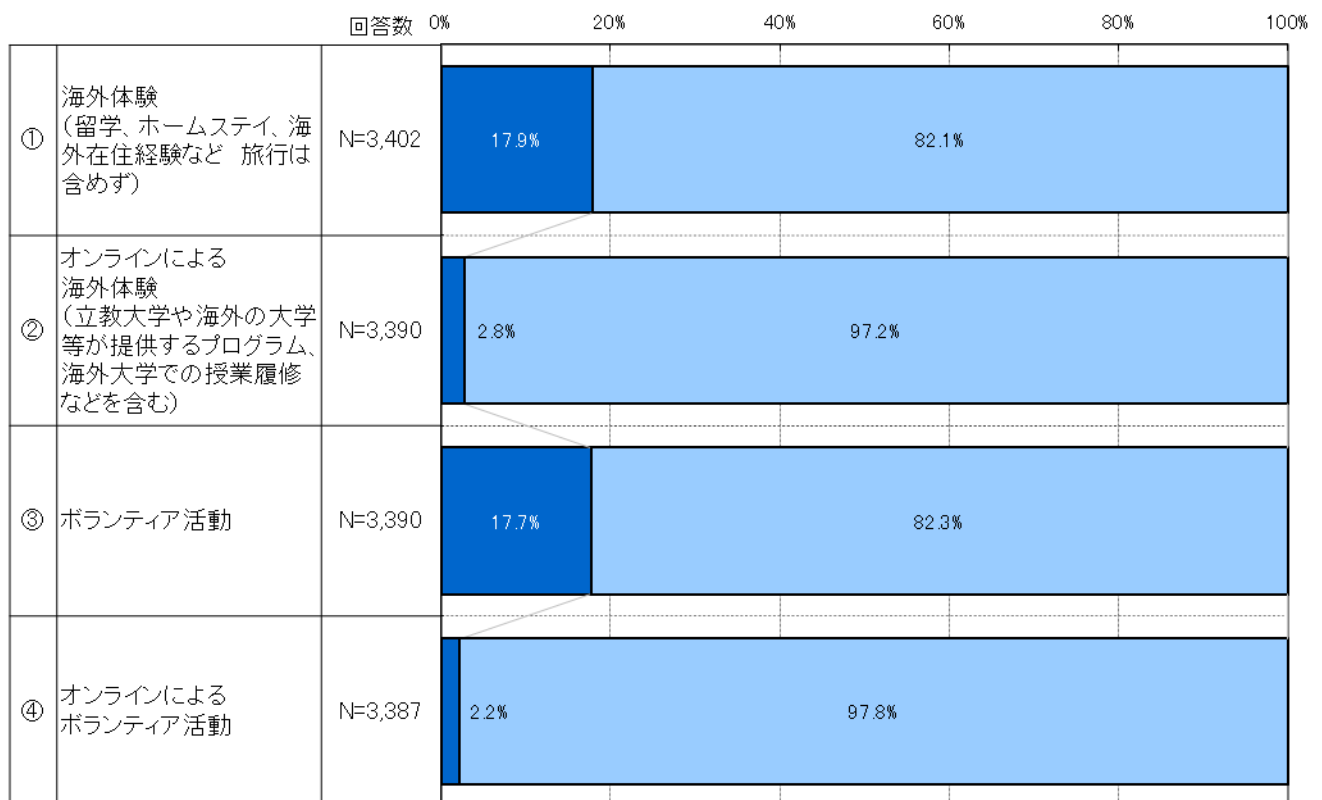
キャンパス	学部	対象者数	回答者数	回答率
池袋	文学部	879	717	81.6%
	経済学部	666	462	69.4%
	理学部	258	230	89.1%
	社会学部	522	405	77.6%
	法学部	575	400	69.6%
	経営学部	403	338	83.9%
	異文化コミュニケーション学部	148	103	69.6%
	グローバル・リベラルアーツ・プログラム	18	16	88.9%
新座	観光学部	342	300	87.7%
	コミュニティ福祉学部	407	330	81.1%
	現代心理学部	304	259	85.2%
合計		4,522	3,560	78.7%

調査結果（概要）

本調査で得られた調査結果の概要をご紹介します。

■Q1.4 年次（休学期間等を除く）の経験

- 海外体験を経験した学生は 17.9%、オンラインによる海外体験を経験した学生は 2.8%、ボランティア活動を経験した学生は 17.7%、オンラインによるボランティア活動を経験した学生は 2.2%でした。



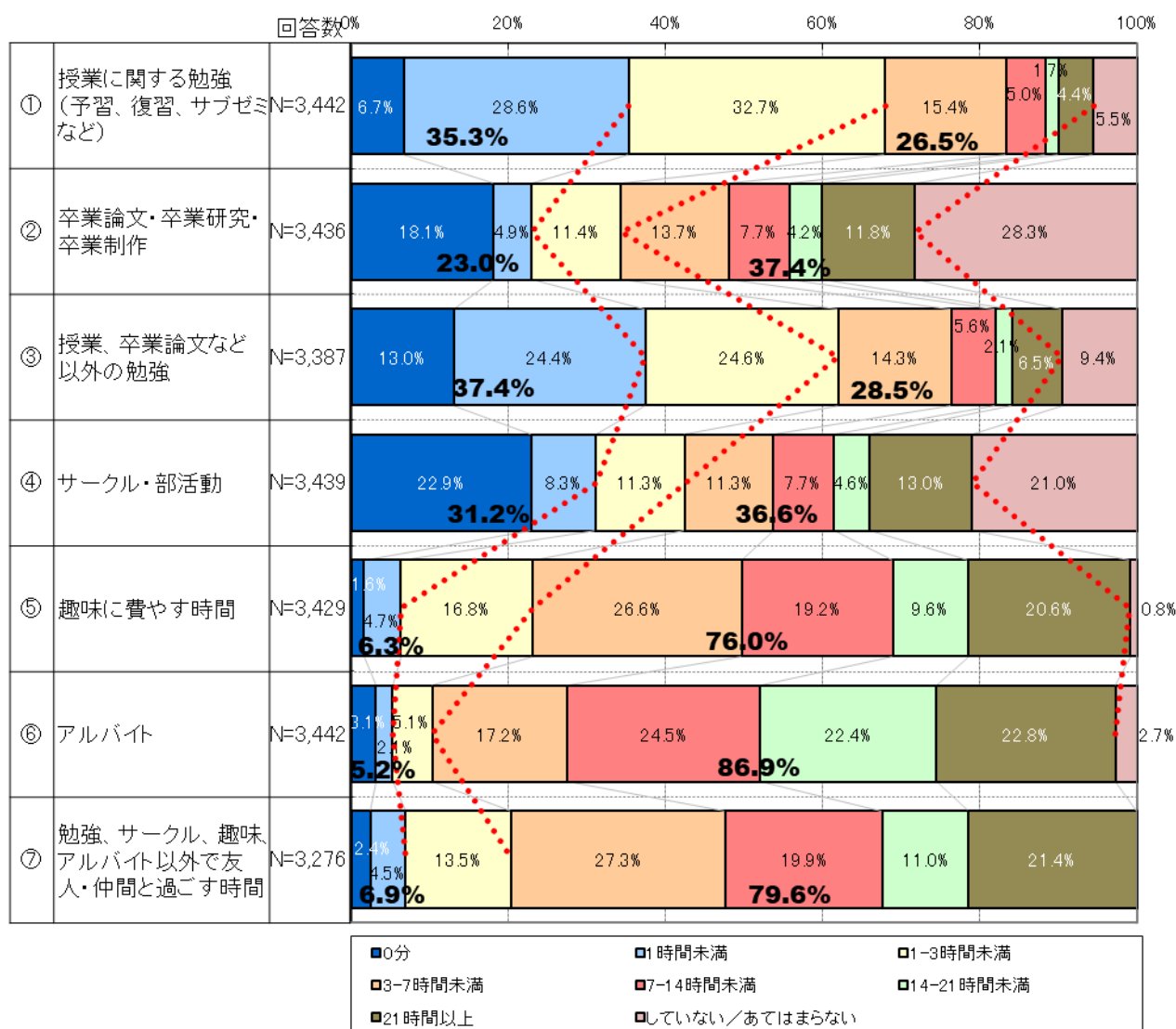
■経験がある

□ない

■Q2. 学生生活（1週間あたりに費やした時間）

- 4年次にそれぞれの活動に費やした時間（1週間あたりの平均）を尋ねたところ、「①授業に関する勉強」では、「1時間～3時間未満」が最も多く32.7%、「②卒業論文・卒業研究・卒業制作」では、「していない／あてはまらない」が最も多く28.3%、「③授業、卒業論文など以外の勉強」では、「1時間～3時間未満」が最も多く24.6%となっていました。
- 「④サークル・部活動」では、「0分」が最も多く22.9%、「⑤趣味に費やす時間」では、「3時間～7時間未満」が最も多く26.6%、「⑥アルバイト」では、「7時間～14時間未満」が最も多く24.5%、「⑦勉強、サークル、趣味、アルバイト以外で友人・仲間と過ごす時間」では、「3時間～7時間未満」が最も多く27.3%となっていました。

※上記の割合（%）には「していない／あてはまらない」に回答した割合も含めて算出しています。

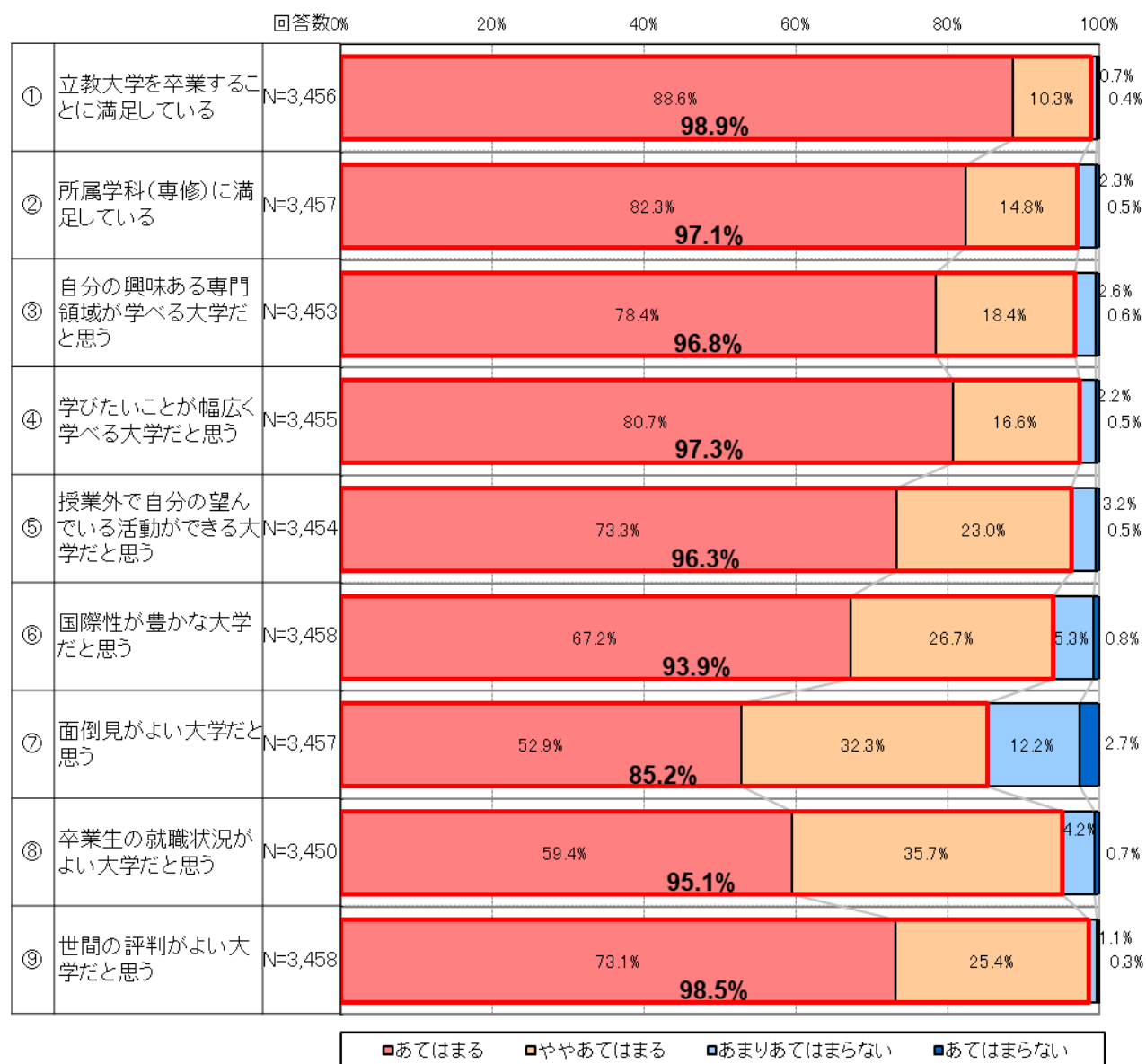


※グラフ中の黒太文字で示した数値は左側が「0分」と「1時間未満」の合計、右側が「3時間～7時間未満」「7時間～14時間未満」「14時間～21時間未満」「21時間以上」の合計となっている。

※「⑦勉強、サークル、趣味、アルバイト以外で友人・仲間と過ごす時間」には「していない／あてはまらない」という選択肢は用意していない。

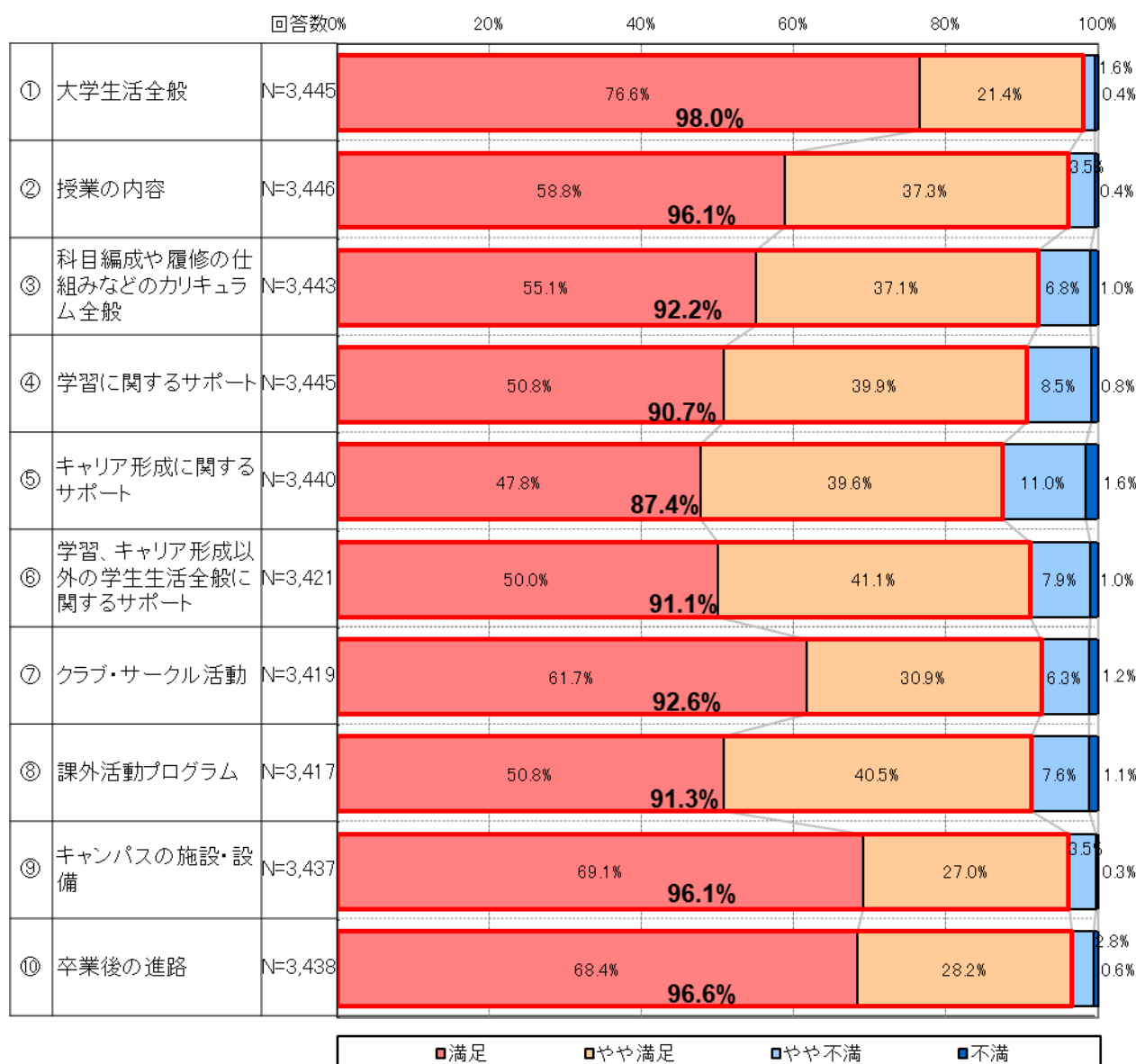
■Q3. 立教大学に対する評価（含：立教大学を卒業することについての満足度）

- 立教大学の各項目への評価について尋ねたところ、「①立教大学を卒業することに満足している」に対しては、「あてはまる」が88.6%で「ややあてはまる」の10.3%を加えると、98.9%が肯定的な回答となっていました。
- 上記以外の各項目への評価に対しては、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせると、すべての項目で8割以上が肯定的な回答となっていました。



■Q4. 満足度（全般）について

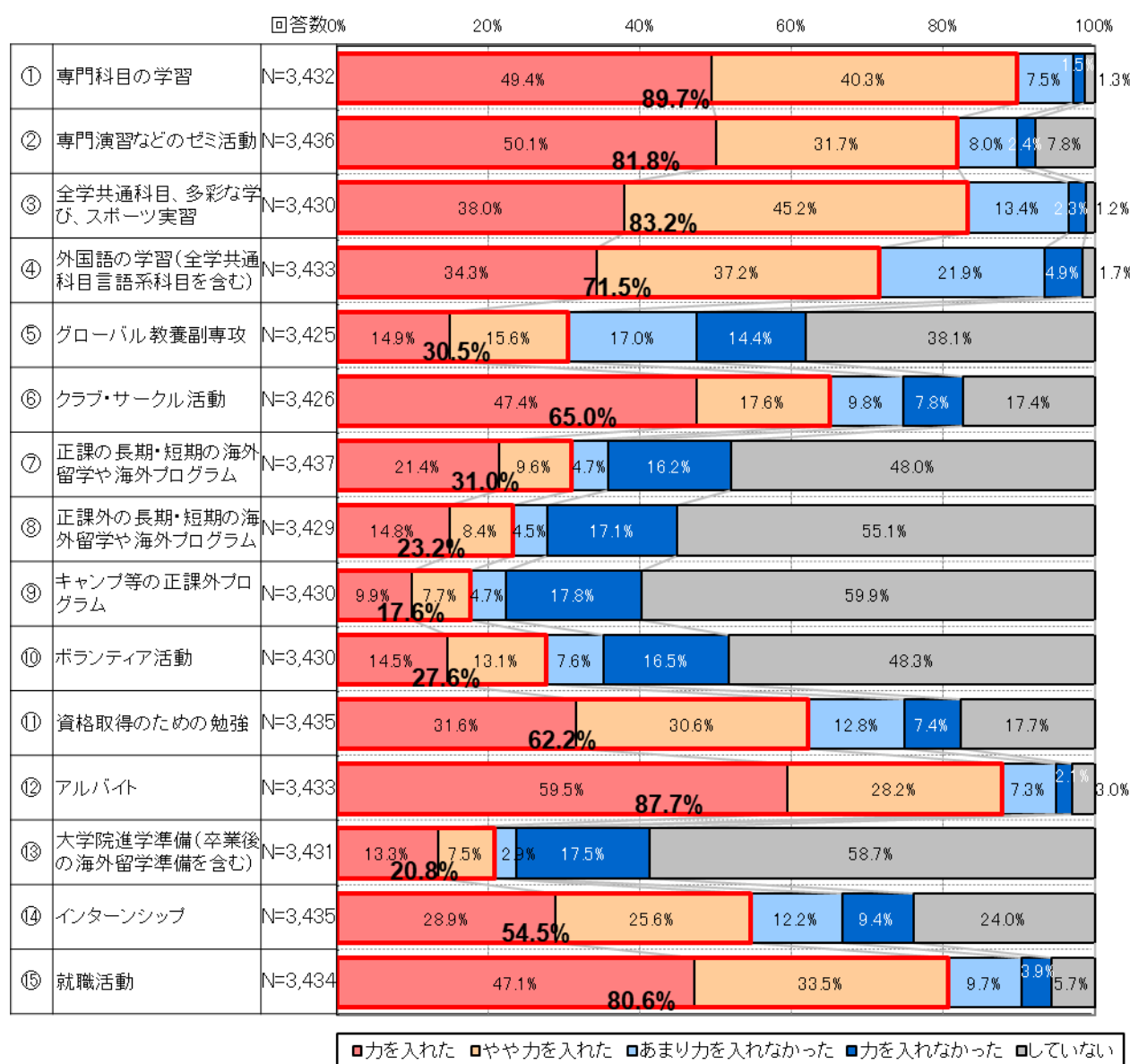
- 立教大学の各項目への満足度を尋ねたところ、「満足」「やや満足」を合わせると、すべての項目で8割以上の学生が立教大学での授業やサポート等について満足していると回答していました。
- 肯定的な回答が最も多かったのは「①大学生活全般」の98.0%でした。上記に次いで、「⑩卒業後の進路」が96.6%、「②授業の内容」「⑨キャンパスの施設・設備」がともに96.1%、「⑦クラブ・サークル活動」が92.6%、「③科目編成や履修の仕組みなどのカリキュラム全般」が92.2%となっていました。
- 一方、肯定的な回答が最も少なかったのは「⑤キャリア形成に関するサポート」の87.4%でした。



■Q5. 大学生活・学修に関する取り組み

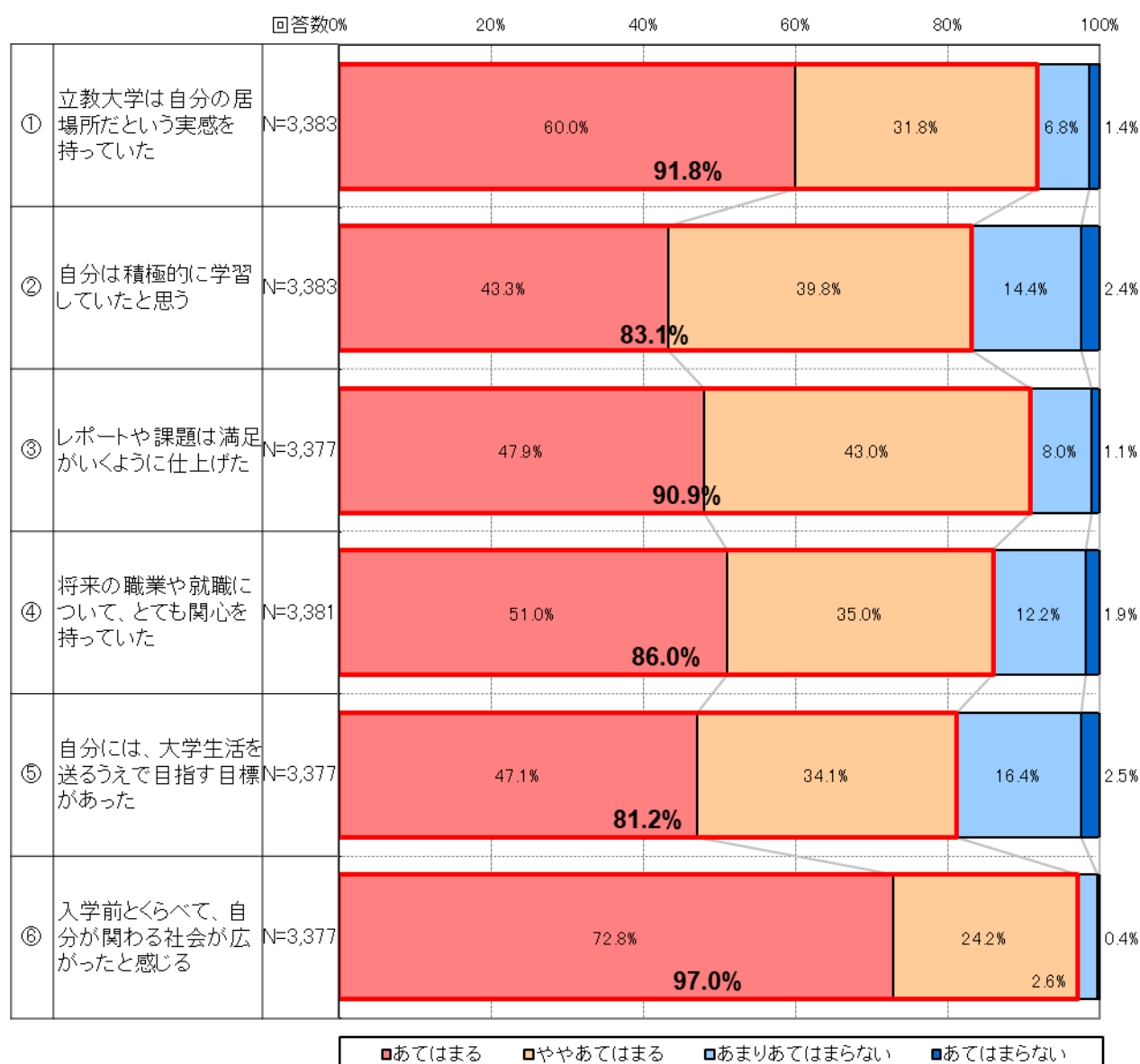
- 大学生活・学修に関する取り組みについて尋ねたところ、「力を入れた」「やや力を入れた」を合わせると、肯定的な回答が最も多かったのは「①専門科目の学習」の 89.7%でした。上記に次いで、「⑫アルバイト」が 87.7%、「③全学共通科目、多彩な学び、スポーツ実習」が 83.2%、「②専門演習などのゼミ活動」が 81.8%、「⑮就職活動」が 80.6%となっていました。
- 一方、肯定的な回答が最も少なかったのは「⑨キャンプ等の正課外プログラム」の 17.6%であり、「⑬大学院進学準備（卒業後の海外留学準備を含む）」が 20.8%で続いていました。
- ただし、「していない／あてはまらない」が最も多かったのも「⑨キャンプ等の正課外プログラム」の 59.9%であり、「⑬大学院進学準備（卒業後の海外留学準備を含む）」が 58.7%で続いていました。

※上記の割合（％）には「していない／あてはまらない」に回答した割合も含めて算出しています。



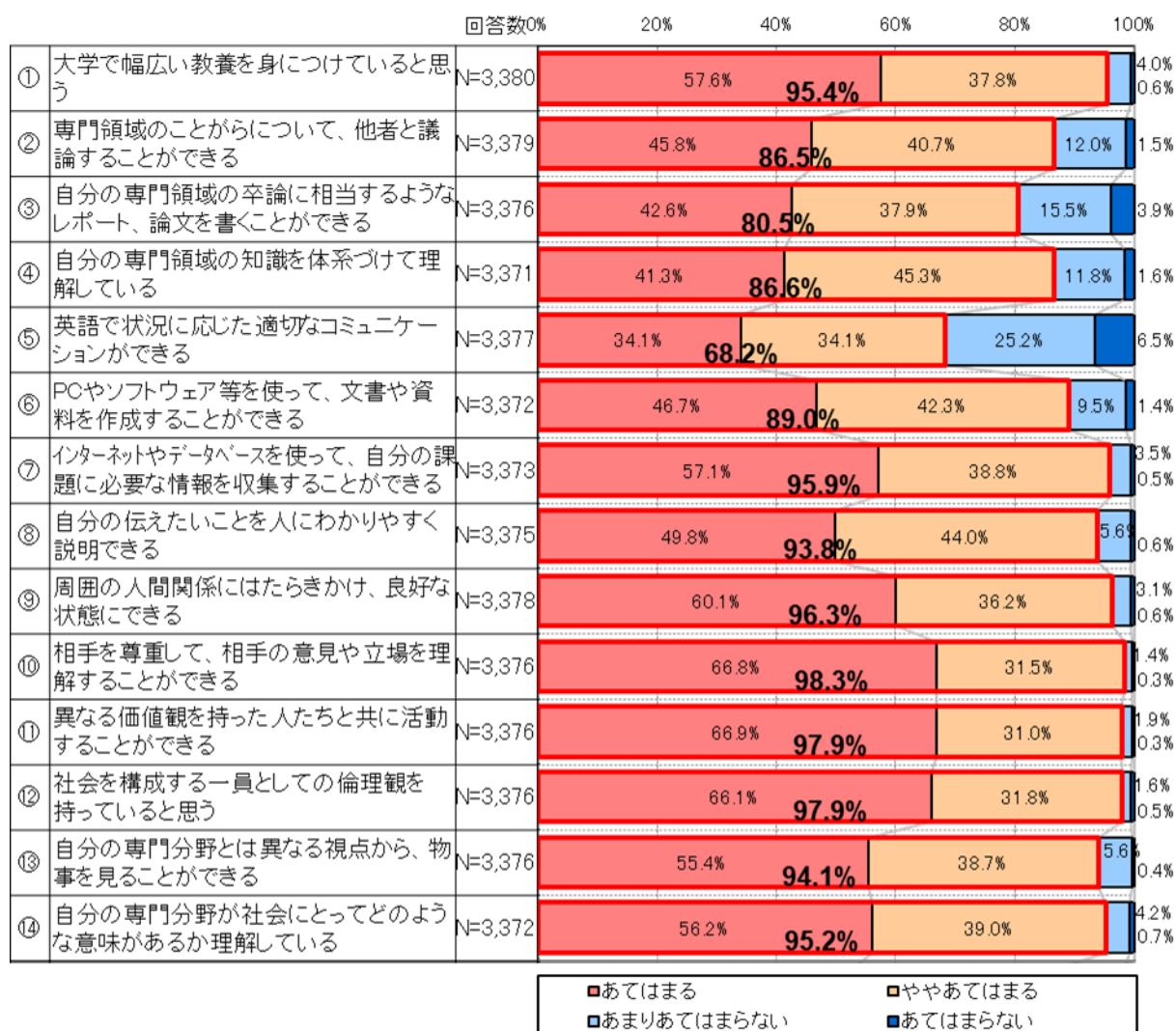
■Q6. 自分自身の状況に関する振り返り

- 大学生活や学修における自分自身の状況に関する振り返りを尋ねたところ、すべての項目で8割以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。
- 肯定的な回答が最も多かったのは「⑥入学前とくらべて、自分が関わる社会が広がったと感じる」の97.0%でした。上記に次いで、「①立教大学は自分の居場所だという実感を持っていた」が91.8%、「③レポートや課題は満足がいくように仕上げた」が90.9%となっていました。
- 一方、肯定的な回答が最も少なかったのは「⑤自分には、大学生活を送るうえで目指す目標があった」の81.2%でした。



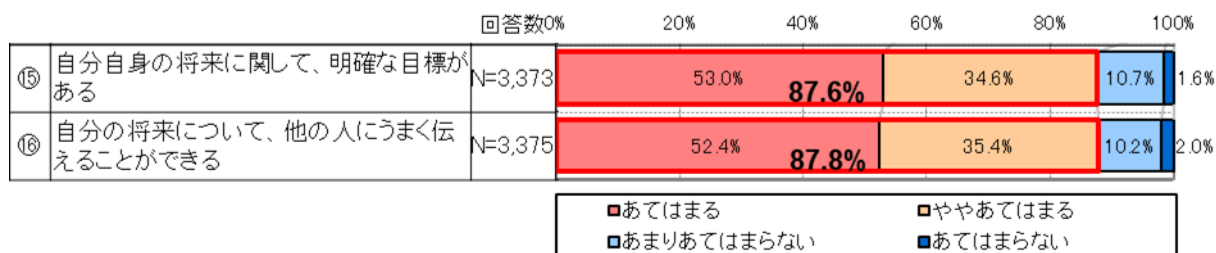
■Q7.-1 「立教大学 学士課程教育の目的」の学修成果

- 立教大学の学士課程教育の目的(ディプロマ・ポリシー)と関連する各項目について尋ねたところ、すべての項目で6割以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。
- 肯定的な回答が最も多かったのは「⑩相手を尊重して、相手の意見や立場を理解することができる」の98.3%でした。上記に次いで、「⑪異なる価値観を持った人たちと共に活動することができる」「⑫社会を構成する一員としての倫理観を持っていると思う」がともに97.9%となっていました。この3項目はいずれも「あてはまる」が6割を超えており、「あてはまる」とする回答の多さが目立ちました。
- 一方で、肯定的な回答が最も少なかったのは「英語で状況に応じた適切なコミュニケーションができる」の68.2%であり、他の質問項目と比べても「あてはまる」とする回答の少なさが目立ちました。



■Q7.-2 自分自身の将来に関する評価

- 「⑮自分自身の将来に関して、明確な目標がある」については、「あてはまる」が 53.0%、「ややあてはまる」が 34.6%であり、肯定的な回答の合計は 87.6%でした。
- 「⑯自分の将来について、他の人にうまく伝えることができる」については、「あてはまる」が 52.4%、「ややあてはまる」が 35.4%であり、肯定的な回答の合計は 87.8%でした。



2026 年 7 月
立教大学 大学教育開発・支援センター 教学 IR 部会